

学校だより

松戸市立柿ノ木台小学校
令和5年11月1日11月号
校長 常世田 聡

秋の深まりを感じる頃となり、朝夕はめっきり冷え込んできました。今年11月8日が立冬だそうです。これから少しずつ太陽の光が弱まり、冬枯れの景色が目立つようになります。寒さも一段と強まり、病気に負けない体づくりが必要になってきます。学校では、冬の体力づくりの一環として、業間持久走練習が始まりました。風邪に負けない体をつくとともに、風邪を予防するために、今まで以上に「手洗い・うがい」の励行にも努めていきたいと思っております。ご家庭でもご協力をお願いします。

10月は子ども達の活躍の場が数多くみられました。土曜参観、市内小学校体育大会では天候もよくなり、全力を出し切り、自己記録を更新したり、入賞したりと活躍した姿が見られました。そして、金管バンド部は25日の市内小中合同音楽会で、演奏をしました。とても素晴らしい演奏でした。子ども達を励まし、そしてご協力をいただいたご家族をはじめ、皆様に感謝申し上げます。

また、校外学習、6年生の修学旅行では子ども達には、計画を立てさせ、目標を決めたり、係を決めたり、グループでの行動を考えさせたりしました。子ども達には自分たちで考え、行動できる子ども達になってほしいと考えています。そのためには、話を聞くだけでなく、実際に見て、体験し、考えさせる、そういった機会を大事に取り組んでいくことが大切だと考えています。将来、どのような社会になっても自分たちで対応を考え、判断し、行動できる大人へと成長できるように、これからもご支援よろしく申し上げます。

そして、学校だけではなく地域や保護者の方々との連携することによって子ども達の成長をより確かなものにできると確信しています。その連携としての行事が柿小まつりだと思います。子どもたちもとても楽しみにしていた行事でした。地域や保護者が一体となって取り組んでいただいたおかげで、当日は、満面の笑顔の子ども達でした。ありがとうございました。

さて、詩を紹介します。

はきものをそろえる

はきものをそろえると 心もそろう

心がそろうと はきものもそろう

ぬぐどきに そろえておくと はくどきに 心がみだれない

だれかが みだしておいたら だまってそろえて おいてあげよう

そうすればきっと 世界中の人の心も そろうでしょう

この詩は 長野県の円福寺というお寺の和尚さんだった藤本幸邦さんがつくった詩です。

今から80年ほど前の戦争の後、東京はたくさんの爆弾によって焼け野原となり、上野駅の周辺は食べ物や生活に必要なものを売ってお店がいくつも並び、多くの人が集まっていました。しかも大人だけでなく、戦争で親を亡くした子ども達もたくさんいました。その子ども達は着る服もぼろぼろで、多くの子ども達は裸足でした。さらに、行き交う人々に物乞いをしたり、スリや置き引きなどをしたりして暮らしていました。それを見た藤本さんは、とても心を痛めました。

藤本さんは、そのような子ども達を自分のお寺で育てることにしたのです。さっそく3人の子どもを連れて、長野県のお寺に帰りました。その後20人、30人と少しずつ増えていきました。

ある日、玄関を見ると、脱ぎ捨てられた靴が折り重なったり、あちこちにバラバラになったりしていました。それを見た藤本さんは、また心を痛めてしまいました。そこで、藤本さんは、子ども達に、「はきものをほっぽらかしにしておくと、また戦争になってしまうぞ」と教えたそうです。これがきっかけでこの詩をつくったそうです。

この詩は、何を教えようとしているのでしょうか。自分の靴をそろえずに脱ぎっぱなしにするという行動は、他の人がどのような気持ちになるのかということを考えなかったり、自分さえよければよいといった行動だったりするのではないかと思います。反対に自分の靴をそろえることができる人は、心穏やかで、自分の行動を冷静に考え、他の人がどのような気持ちになるのかも考えることができる人だと思います。しかもそのような人は、他の人が乱した靴も、だまってそろえることができる人でもあります。

一人ひとりが自分のことを落ち着いて見つめたり考えたりしながら行動することは、とても大切なことだと感じています。さらに、他の人の気持ちにも考えを巡らせることができるようになれば、お互いに気持ちのよい生活ができるようになるでしょう。そうすれば、争いごともなく、きっとみんながお互いを思いやる、平和な世の中になっていくことになるでしょう。11月も学校へのご協力よろしく申し上げます。

全国学力・学習状況調査結果について(第6学年対象)◎各教科(国語・算数)の傾向と今後の課題

国語 全国平均よりやや高い正答率です。

○特に「読むこと」「話すこと・聞くこと」について理解ができていました。

▼特に「情報の扱い方に関する事項」に課題が見られます。課題克服のために、文章の中の一文は結果、原因、目標、考えなど何について書かれているか理解できるようにするという指導をして参ります。

算数 全国平均と同程度の正答率です。

○特に「データの活用」について理解ができていました。

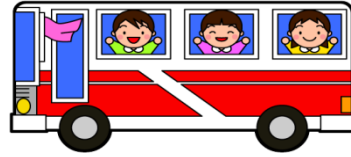
▼特に「図形」に課題が見られます。課題克服のために、①映像教材やタブレット端末を使用したり、具体物を操作したりしながら学習に取り組む、②立式をする際や公式を学習する際に、図や言葉を用いて表現し、説明する習慣を付けさせる、などの指導をして参ります。

◎児童質問紙による本校児童の傾向(全国平均との比較)

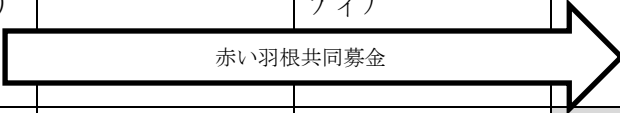
○多くの児童が、学習に意欲的で、生活が充実しているということが感じられました。

▼「早寝・早起き」などの生活習慣の見直し、話し合い活動の充実、ICTを用いた学習に力を入れ、指導を行って参ります。

※引き続き、ご家庭でも励ましのお声かけ、また、家庭学習へのご支援・ご協力をお願いします。なお、6年生児童には「個人票」を配付します。併せてご確認ください。



月	火	水	木	金	土
		1 5年校外学習	2 全校集会 6年卒アル作成写真撮影(各教室) 4年1組プラネタリウム見学	3 文化の日	4
6	7 図書ボランティア(9:20~) 読み聞かせボランティア	8 4年校外学習 1~3年(5時間目まで) 4~6年(6時間目まで)	9 千教研(13:00下校)	10 租税教室(6年、13:40~14:25体育館) 教育相談日	11
13 赤い羽根共同募金(7:50~8:05正門・昇降口付近)16日(木)まで	14 5年生夢の教室	15 ワンポイント避難訓練 読み聞かせボランティア	16 6年生陶芸教室	17	18
20	21 スクールカウンセラー来校	22 6年生校外学習	23 勤労感謝の日	24 教育相談日 読み聞かせボランティア	25
27 クラブ活動	28 書き初め教室	29 書き初め教室	30 持久走記録会 読み聞かせボランティア		



※予定は変更する場合があります。最新の情報は、スクリレにてご確認ください。

※4・5年生算数教室は毎週木曜日業間休みに行います。

12月の主な行事予定

- 持久走記録会予備日(1日) ○学級懇談会(15日) ○給食最終日(20日)
- 2学期終業式(22日) ※冬季休業(23日~1月6日)

○持久走練習について

体育の学習や業間休みにおいての体力づくりの一環として実施します。スクリレにて健康観察を実施します。お子さんの健康状態を把握したうえで、持久走練習に不参加の場合もスクリレにてお知らせください。

○図書ボランティアについて

図書ボランティアに参加を希望される方は、毎月第二火曜日9:20に図書室へ来てください。

○卒業式及び令和5年度始業式・入学式の日程について

- 卒業証書授与式 令和6年 3月15日(金)
- 入学式 令和6年 4月10日(水)

以上の通りに決定しました。詳細につきましては、決まりしだいお知らせします。